

# スプレー缶等による火災にご注意を！



## ～スプレー缶等の取扱いや廃棄方法に要注意～

スプレー缶等による火災は、暖房器具やカセットコンロを使用する冬季に多く発生しています。平成25年から平成29年までの5年間で546件発生し、そのうち10月、11月、12月、1月に240件発生しています。これからの時季に火災が多く発生する可能性があることから、東京消防庁では注意を呼びかけています。

### 【スプレー缶等とは】

可燃性ガスを噴射剤とした整髪剤、消臭剤、パーツクリーナ等のスプレー缶と、カセットコンロの燃料として用いられるボンベを合わせていいます。

### 【スプレー缶等に起因する火災発生状況】

前年のスプレー缶等による火災では、死者が発生しています。本年11月30日までに79件の火災が発生し、そのうち19件（24.1%）は穴開けによる火災です。

これから年末に向けての大掃除の際に、廃棄のためスプレー缶等に穴を開けたことに起因する火災が多く発生する可能性があるため、注意が必要です。

### 《こんなことで火災に》

- 1 カセットコンロに燃料ボンベを装着する際に、誤って装着したためガスが漏れて出火した。
- 2 ガステーブルや暖房器具を使用中に、近くのスプレー缶等が破裂して出火した。
- 3 調理中のガステーブルの付近で、廃棄のためスプレー缶等を穴開けしたところ、スプレー缶等から可燃性ガスが漏れ出火した。

### 《火災を防ぐために》

- 1 カセットコンロに燃料ボンベを取付ける際は、取扱説明書をよく読み、燃料ボンベ容器ガイドの切り込み部分を本体容器受けガイドの突起部分に正しく合わせて取付けましょう。
- 2 スプレー缶等はガステーブルや暖房器具の上やそばなど、高温となる場所には置かないようにしましょう。
- 3 スプレー缶等を廃棄する場合は、中身を使い切り、各区市町村が指定する廃棄方法に従って捨てましょう。

